

第10回「交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業 基本方針・基本計画」説明会

日時：令和2年7月19日(日) 19時～21時

場所：交野市役所 別館3階 中会議室

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応
・保護者が心配する声をたくさん聞かれたと思うが、子どもたちの負担を実感するためにも長宝寺小から各地区への一番遠い通学路をすべて歩いてみてほしい。 ・安全な通学路が示されていない。先ほども安全第一という説明があった。長宝寺小学校への通学を、信号や歩道等が付き、安全が保障されるまで延期することができないか。	・通学路について、開校準備委員会でルートを検討が始まっている。昨年度、いろいろなルートを実際に歩いたこともある。また、「工事期間中の教育環境の在り方について」のパブリックコメントを実施した際も、いろいろなルートのご意見を頂戴しており、本当にそのルートが良いのかどうか検討し、実際に歩いてみて危険個所の把握と安全対策を進める必要があるものと考えている。
・いきいきのプールでは、2時間枠で入水時間が15分。学校のプールは65分。学校プールの検討ができるかどうか答えてほしい。	・プール入水時間について、この10回の説明会の中でも、本当にプールの授業が可能なのか等のご意見をいただいている。教育委員会事務局内で何度も試算した結果、授業編成は可能であると考えている。
・交通事故など何かあれば、教育委員会の責任と思っていればいいのか。	・交通事故が起これば、それは当事者の責任になる。しかし、そのような悲しい事案が起こらないよう、十分に対策をうっていかねばならならないという認識である。
・「学校規模適正化基本計画」のパブリックコメントは実施したということだが、この計画は14校すべてが対象であり、中学校区ごとにどう適正化していくかを決めただけである。今回の基本方針・基本計画で、第一中学校区を具体的にどうするのか初めて示された。だからパブリックコメントが絶対必要だと思う。	・「学校規模適正化基本計画」は一般論などではなく、この計画の中で施設一体型小中一貫校を交野小学校の敷地に作るということ、パブリックコメントを経て決定している。また、「工事期間中の教育環境の在り方について」も、パブリックコメントを実施している。
・四年生でプールのない学校からプールのある学校へ転校したが、もちろんあまり泳げない。プールが校庭にある学校は希望者は毎日泳げた。水泳部はどうするのか。また、子どもたちは歩いていきいきランドを往復する。市民の方はどうなるのか。	・学校施設内にプールを設置しない学校は増えているが、授業がなくなるのではなく、近隣の総合体育施設のプールや民間のプールを使用している。また、インストラクターに授業の補助をお願いする学校も全国的に増えている。今回は、交野小学校から直線距離で約200mの位置にいきいきランドプールがあるのでそちらを使用することになった。プールの使用時間帯は、学校の使用と一般市民の使用時間帯を分けて授業編成のシミュレーションをおこなっている。

・交野市のパブリックコメント運用マニュアルを読むと、どういうものがパブリックコメントの実施対象となるのか例として挙げられている。そこには基本的な、計画と指針、市民等に義務を課す条例、市民等の権利を制度にする条例、行政手続法に規定する審査基準、処分基準及び行政指導指針等と書かれている。今回は「基本方針・基本計画」なので、基本的な計画と指針ということになる。それなのにパブリックコメントをせずに説明会をしているということに瑕疵があると思うので、もう一度、説明を求めたい。	・今回の魅力ある学校づくり事業は、ここに至るまでに、平成28年から学校規模適正化に取り組んでいる。一中校区だけではなくすべての学校が老朽化しており、すべての学校で計画的な改修が必要ということもある。その中で、平成31年2月に「学校規模適正化基本計画」を策定した。一中校区については、交野小学校、長宝寺小学校、第一中学校を統合した施設一体型小中一貫校を交野小学校につくることが記載されたが、これについてはパブリックコメントを実施している。その後、施設一体型小中一貫校を整備する間、交野小学校の子ども達の教育環境をどうするかが課題となったが、協議会で様々なご議論をいただき、教育審議会にも諮り、令和4年に長宝寺小学校と小小統合することが望ましいとの見解が出た。そこについても「工事期間中の教育環境の在り方について」のパブリックコメントを実施した。その上で、新校整備のコンセプトや児童生徒数に対する教室数とその配置案などをとりまとめたものが、この「交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業基本方針・基本計画」となる。基本的な部分についてはパブリックコメントを実施した上で「交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業 基本方針・基本計画」を作成した。そういう以前からの経緯も含めて、今回の計画策定においてはパブリックコメントを実施していない。
・合併のデメリットは何か教えてほしい。合併しなくとも先生の意識が変われば、このような教育はできるのではないか。そもそも合併することで、交野市の財政に負担になると思うし、合併しなくても教育できるのではないか。	・学習内容が難しくなったときに小学校と中学校が一緒になって対応することで、より効果的に対応できると思われる。また、施設一体型小中一貫校では、子どもの自尊感情や学習意欲が向上するという効果も出ている。人間関係の幅も広がり、先生方の交流もでき学習内容も豊かになると考えられる。 ・これまで小中一貫教育を実施しているが、施設一体型小中一貫校になると小学校と中学校の人間関係が豊かになり、教員の負担は軽減される。通学距離の課題はあるが、その場に居ながらの工事では勉強に集中できない等、それぞれメリットとデメリットがあるが、メリットを伸ばしていきたい。

・プールの授業はインストラクターを活用されると言われるが、プール嫌いの子を指導するときはプールへ行くまでに時間がかかる。インストラクターでは泳力の向上は期待できるが、それ以外の指導は難しいと思う。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・通学距離は長くなるがスクールバスの運行は行わないことを決めた時点では教育長不在だったように思う。これを決めた責任者は教育長職務代理者となるのか。	・スクールバスについては概要版の6ページに掲載している。工事期間中に長宝寺小学校へ通学することについては、令和2年3月27日の定例教育委員会で決定された。
・1,100人にもなると名前を覚えてもらえない子がいる。子どもの名前を覚えられるのは600人から700人まで。1,100名の小中学生を一つの校舎に詰め込むことはやめてほしい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・四年生でプールのない学校からプールのある学校へ転校したが、もちろんあまり泳げない。プールが校庭にある学校は希望者は毎日泳げた。水泳部はどうするのか。また、子どもたちは歩いていきいきランドを往復する。市民の方はどうなのか。	・学校施設内にプールを設置しない学校は増えているが、授業がなくなるのではなく、近隣の総合体育施設のプールや民間のプールを使用している。また、インストラクターに授業の補助をお願いする学校も全国的に増えている。今回は、交野小学校から直線距離で約200mの位置にいきいきランドプールがあるのでそちらを使用することになった。プールの使用時間帯は、学校の使用と一般市民の使用時間帯を分けて授業編成のシミュレーションをおこなっている。
・コロナで劇的に状況が変わった。3つの学校を1つにしたら、密ではないのか。	・新しく建てられる学校は、これまでの学校建築のように片廊下で教室がずらっと並んでいる形ではなく、開口部を大きくする、廊下を広くとる、換気システムを全館換気するといった施設整備により、コロナ対策だけではなく様々な感染症対策に有効と考えられる施設整備を進めていきたい。
・同じ教育委員会の管轄で、学童保育の育成活動費というお金で、備品の空気清浄機を買われたと聞いたが、市はお金がないのか。	・交野市は財政難なのに、投資をしてまで学校を整備する必要があるかとの質問をいただくことがあるが、学校施設の老朽化対策は待ったなしの状態である。財政の課題はあるが、本当に良い学校を作りたいという思いをもって取り組んでいる。 ・放課後児童会の空気清浄機については、市の判断だけではなく放課後児童会の保護者の運営委員会役員の方と相談させていただき、緊急性を考慮した上でリスクを減らし、安全性を確保するということで設置した。

・今回出された計画案では、密な校舎配置、教室配置となっている。南海トラフやそれに起因する直下型地震も確実に起こるといわれているが、そんな中で密な校舎配置、教室配置で、安心安全が本当に大丈夫なのか。余裕のある校舎がぜひとも必要だと考えている。 ・今回の計画案では、子どもたちの1㎡あたりの密度が非常に高いように思う。いま交野市は35人学級でやっておられて、小中一貫校は9学年4クラスで構成されているが、35人学級には特別支援学級の子ども達がカウントされていない。そういう中で、35人が36人や37人とか、中学校では40人越えのクラスもある中で、小中一貫校になった場合、各学年4クラスを超え非常に人数の多いクラスになる。30人学級を将来の見通しとし、小中分離の計画にしてほしい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・先ほど地震の話がでたが、2年前の大阪北部地震は一部の断層が動いただけで、上町断層の枚方・高槻をって交野市の山のほうまで一気に断層が動いた場合、巨大地震が起こる。一刻も早く今の老朽化した第一中学校、交野小学校を新しい校舎にしてもらいたい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・先ほどの通学路の話だが、100%安全な道など交野にどこにもないが、その中で最善の策を検討するために開校準備委員会で取り組んでいる。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・小中統合がだめだという話だが、例えば予算がないといっても2校作ったら倍の予算がかかる。一緒になった時のメリットをとったほうが合理的で良い。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・プールは1年のうち3か月しか使えない。そのあとは、汚い水のたまった池としてずっと放置されている。そのために巨額のお金と面積を使うのであれば、第一中学校区の施設一体型小中一貫校は、近隣のいきいきランドプールを使用するなど、地の利を生かして年間を通じていつでもプール授業ができるほうが良い。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。

・今の提案をポジティブに受け止める解釈をしてほしい。ネガティブな話ばかりするからここにきた未就学児のお母さんが、不安になって帰られた。もっと前向きに受け止めたら、この話は非常にいいのではないか。積極的な提案をもっとしていただきたい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・この説明会には保護者の方はあまりいないようだ。後ろから見ているが、この説明会は決まったことを説明するだけのものなのか。すべて決まっているのか。	・どのように周知に努めるのかということは大きな課題と考えている。3つの学校向けにお便りの配布、回覧板、ホームページ、こども園課を通じて交野市内の認定こども園に公立私立関係なくお便りを配布したり、子育て支援課や市の公共施設窓口にもチラシを設置している。また、交野市地域ポータルサイト「織姫ねっと」にも掲載している。この説明会で終わりではなく、要望があれば別途説明会の開催も検討する。
・交野小学校の近所のお母さん達や保護者は、どういう状況なのかまだ全く分からない。この説明会も働いているお母さんもいて、平日の午前・午後は来られない。土曜になると抜け出すのは難しい。日曜のこの時間も、私は子どもを置いてきているがなかなか難しい。そういうお母さん達の声は多い。なぜ当初この話が出た時に、一番に交野小学校や長宝寺小学校へ行って説明会をしなかったのか。	交野小学校と長宝寺小学校については、この市民説明会の前の段階で、保護者に対する説明会を実施した。
・全く関係ない話だが、第二京阪道路の建設の時もすごい反対があったが、どうせ国家権力で道路ができるのであれば、住民にとって良い道路を作ってもらおうと前向きな提案をしたら、素晴らしい道路ができた。今回の件も、子どもたちのために何ができかと考えることが一番大事なところ。実際、通学路が確定したら、今度はここにいらっしゃる方々が、お一人お一人が子どもたちの安全を守っていくというふうに方向転換するべき。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。

・1,000人の子どもを4階もあるような校舎に通わせるのは危険。中学校で800人くらいの中で避難訓練をすると10分や20分では避難できない。子ども達の本当の安全は、ゆったりとした施設で学ぶということ。一年生から九年生まで同じところで生活するというのは、物凄く息苦しいのではないかと思う。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・コロナはこれからの社会を変えていくということを、私たち自身が考えないといけない時期ではないか。教育委員会はコロナに対して、どういう風に対応していくのか広報でも教えてほしい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・何が心配かというと、一番は安全面。通学の安全についてはいろいろ話し合っていて決めていくと思うが、予算もあると思うが恒久的な対策も取ってほしい。学校ができて、ずっと通学するというのであれば、恒久的対策も視野に入れて取り組んでほしい。	・通学路の恒久的な対策については、交野小学校の児童が3年間、長宝寺小学校へ通う間だけではなく、新しい学校ができた時のルートや安全対策についても当然必要との認識を持って取り組んでいきたい。
・コロナはやはり心配。小中一貫校になる学校が密になるということで、換気はしっかり入れるという話もあったが、専門家の意見とか基準があるのであれば示してほしい。その上で、こういう風にやるとの説明があれば安心できる。	・例えば、廊下側の間仕切り壁を全面開放できるようにすることや、その反対側にはバルコニーを設置することで、外壁の窓を全面開放して換気ができたり、あるいは締め切った場合でも、換気ができるような熱交換型換気システムといった新しい設備を取り入れることで、換気に取り組んでいくことが可能ではないかと考えている。
・子ども達に対して、学校がつぶれると不安になっていると思うので、フォローをどうしていくかを考えてほしい。	・子どもたちへのフォローも当然必要だと考えており、新しい学校整備に向けて子ども達の意見を反映させる機会も設けたいと考えている。
・事務局の方から、2つの計画でパブリックコメントを実施したとあったが、この説明会では多くの市民の皆さんから疑問や不安といった率直なご意見が出ている以上、改めてパブリックコメントは求めないという姿勢ではなく、柔軟な方針を持ってほしい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・通学路の問題では、交野小学校へ通っているお子さんが長宝寺小学校へ通う場合、梅雨時期や真夏に2kmといわれても本当に重い荷物をもって学校へ通うのはどれだけ子どもに負担になるため、スクールバスの運行を考えてほしい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。

・10回の説明会を終えて色々なご意見が出たと思うが、これは謙虚に受け止めてほしい。今日、参加されている方々も、新しい学校を作るなら100年、本当にいい学校を作ってもらったと言えるようにしていくため、多くの人の意見を真摯に聞いてほしい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・学校ができて、教育環境が良くなるのか悪くなるのかが大事。例えばグラウンドの問題。児童生徒1人当たりのグラウンド面積は、交野小学校の児童は20㎡、長宝寺小学校は子どもが少ないので65㎡、第一中学校は35㎡となっている。ただこれと一緒にになると、一人当たり11㎡と狭くなる。これでは、子どもたちの環境にとって良くなったといえない。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・交小の前を入ると100年の森の緑があるが、今回の計画ではこれがなくなってしまう。交野の学校にはやっぱり緑が似合う。自然が似合う。それがなくなってしまうというので、大変残念であり、悪くなったと言わざるを得ない。	
・校舎は第一中学校に5棟、交野小学校に2棟、長宝寺小学校に2棟、全部で9つの校舎があるが、今度はそれが一つの校舎になってしまう。これでは密な校舎になる。そして廊下の両側に教室の配置、今は廊下の片側に教室の配置、両側にはない。どちらが良いのかという話。	
・市役所がいきいきランドへ移った場合、いきいきランドの向かい側の農地に開発の圧力が高まって住宅化される可能性がある。そうなった場合にはその児童はどうなるのか。今、私部7丁目も開発が入っており、子どもの数がまだ増えてくる状況の中、そして30人学級になった時に余裕の教室がないという状況もあり得る。	
・コロナ後の学校はどうあるべきかと言われているが、政府は骨太の方針で少人数学級を作っていく方針。全国市長会は国に対して少人数学級をやってほしいという方針。また全国校長会は30人学級の設置を求める要望も出している。文科省も水面下で30人学級の学級編成の検討に入っている。30人学級になった時に今の学校で対応できるのか疑問。	

・概要版の裏表紙を見ると2024年に施設一体型の学校が開校するが、そのあとは空白となっている。長宝寺小学校と第一中学校をどうするのか。今年度2020年度は新校舎の基本設計、長宝寺小学校の既存校舎の改修設計と仮設校舎。こういう工事は地域にも大きな影響がある。この計画の流れでは、みんなの声の集め方が分かりづらいと思うので、今後どう工夫して行こうとしているのか。	・意見集約については、今回の説明会及び協議会の意見も踏まえて行っていく。
・先ほど、今までの校舎でゆとりのある学校が地震に強いと言われたが、直下型地震は地震が揺れ始めてから最大の震度に至るまでの時間が数秒で、避難する時間はなく、その前に建物がつぶれてしまう。災害レジリエンスという言葉があるが、地震が起こっても、水害が起こっても、いかに学校や市役所を継続させるかということに力を割くことがより重要になる。例えば、学校が避難所になっても学校は継続できるような工夫とか、そういう議論をもっとすべきだ。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・敷地が狭くなるという話が出たが、第一中学校の跡地をサブグラウンドに、建物は体育館だけ残して室内競技をやる。中学生の野球などは第一中学校のグラウンドでやってもらう。今、持っている資源を有効活用する提案をしてほしい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・施設の各論を早くしてほしい。一階に体育館が来ているが、体育館を二階に上げて、一階にサブアリーナと武道場にし、屋根をもう一つ上げて、その上にソーラーパネルを乗せて、蓄電池をつけて新しい市役所にも同じようにやって専用線でつなぐ。例えば、北海道や千葉で起こったブラックアウトといった広域電源喪失のときでも、小学校と市役所は自家発電で機能できる。普段は自家発電、自己消費で、空調の費用をまかなうというようなそちらの議論をしてほしい。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。
・消極的な意見がすごく多いので、通う保護者としては不安ばかりになってしまう。もし、もっと関心を持ってもらいたいと思うなら不安をあおるような否定的なことを言わず、ただ説明会に行ってほしいと誘うべき。自分の意見は言わないで、ただ関心だけ持ってもらえるようにもっていくべき。	・ご意見として承ったことを、記録に残します。

・ 阪神淡路大震災を私は経験しているので、この古い建物にはすごく不安がある。災害によって違うので、4階建てがいいのか2階建てがいいのかはわからないが、新しく良いものを建てていただきたい。	・ ご意見として承ったことを、記録に残します。
・ 2020年度に設計が出来上がる。その時点で、もう一度意見集約されるということか。どちらかというと途中で意見を出しておいたほうが基本設計の中に含めてもらえと思って、年度途中はどうなのかと質問した。	・ 意見集約については協議会の中で、皆さんで意見を構築しながら進めているところ。今回いただいた意見も考慮させていただくが、設計に具体的に反映させていくのは協議会のご意見で集約していきたいと考えている。